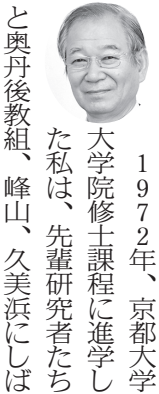


経営者の魂もつアクティビスト

山本健慈 和歌山大学元学長、国立大学協会元専務理事



をやりました。これが再会であり、本格的な出会いでした。

労働者協同組合法制定の時期、私も在京で、国立大学議連で世話になった河村建夫氏の紹介を山本幸司さん、古村伸宏さんなどに頼まれ、河村氏のパーティなどに一緒にしたことも思い出します。

私は、先輩研究者たちと奥丹後教組、峰山、久美浜にしばしば行きました。本書に登場する池井保先生をはじめ、豪放であったり、芸術的であったり、個性的で魅力的な人々と出会いました。古村義夫さんという名も聞いたか、お会いした気がします。

私は67年入学、学生運動の高揚期。70年3月私が京大から、立命から小畑力人が出て、執行部が崩壊していた京都府学連を再建。8月兩名は全学連中執に。私は71年3月退任したので永戸さんとはずれ違いです。

88年、私は無認可アトム共同保育所に出会い、「共同」「協同」を深める過程で労働者協同組合に出会い、2008年3月、ワーカーズコープや協同総合研究所等主催の第1回全国子育て協同研究会に招かれ、貴兄の進行でパネルディスカッション



永戸祐三さんを悼み『協同労働がつくる新しい社会』を読む

日本労働者協同組合連合会元理事長、日本社会連帯機構代表理事の永戸祐三さんが7月16日に急逝しました。亡くなる前に著した『協同労働がつくる新しい社会』（旬報社の感想と、悼む言葉が引き続き寄せられています。永戸さん出演の「佐高信の隠し味」も公開されました。

結論のない問い、考え続けたい

中川亨

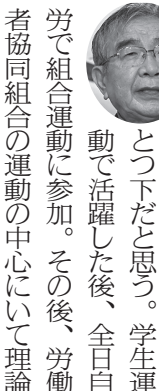


新潟ろうきん福祉財団専務理事 何年か前、にいがた協同ネット主催の新潟協同集会で、永戸祐三さんと斎藤幸平さんのオンライン対談を拝見しましたが、永戸さんと直接お会いすることはできませんでした。

労働者協同組合の顔と言っても過言ではない永戸さんの自伝。これまでの経過

理論の活性は人格、生き方から

太田政男 大東文化大学元学長



主宰する沖繩問題の集会有り参加した時に会った。退院したばかりだった。席が隣だったので、肺炎になつて死にかかったと話していた。ス

貴兄はご自身を「大衆運動的経営者」と言っていますが、私は学長時代、「社会教育実践的経営」と言っていました。いま振り返って自己規定をすれば、「アカデミズム魂をもったアクティビスト」ということか

88年、私は無認可アトム共同保育所に出会い、「共同」「協同」を深める過程で労働者協同組合に出会い、2008年3月、ワーカーズコープや協同総合研究所等主催の第1回全国子育て協同研究会に招かれ、貴兄の進行でパネルディスカッション

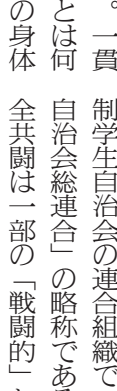
以上急いで書いた手紙を亡くなる数日前のベッドでふれていただいたとのこと、残念ではありますが、間に合つてよかつたと思います。貴兄の志を胸に刻み、志を重ねながら、アクティビストとしての人生を生きていきたいと思っています。

永戸祐三さんを悼み『協同労働がつくる新しい社会』を読む

日本労働者協同組合連合会元理事長、日本社会連帯機構代表理事の永戸祐三さんが7月16日に急逝しました。亡くなる前に著した『協同労働がつくる新しい社会』（旬報社の感想と、悼む言葉が引き続き寄せられています。永戸さん出演の「佐高信の隠し味」も公開されました。

結論のない問い、考え続けたい

中川亨

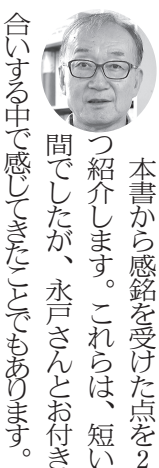


新潟ろうきん福祉財団専務理事 何年か前、にいがた協同ネット主催の新潟協同集会で、永戸祐三さんと斎藤幸平さんのオンライン対談を拝見しましたが、永戸さんと直接お会いすることはできませんでした。

労働者協同組合の顔と言っても過言ではない永戸さんの自伝。これまでの経過

裏には、自らとことん考える努力

青竹豊 日本労働者協同組合連合会常勤顧問

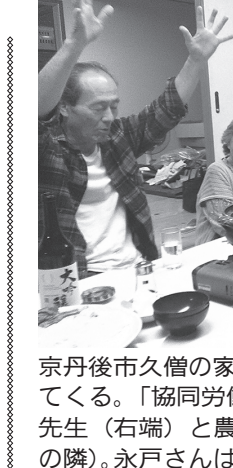


努力がありました。永戸さんは、1980年代初め頃、今後の事業団のあり方を考えている時、労働者協同組合の現代的意義について書かれた『西暦二〇〇〇年の協同組合』（1980年の国際協同組合同盟大会に提出された「レイドロー報告」を紹介され、衝撃を受けたと述懐しています（第4章）。

1つは、相手との信頼関係をきずく人間力です。その秘訣は、「自分の思いは腹藏なく言つ。同時に、相手そのものを受け止める。そうすれば相手も受け止めてくれる」。ことだと語っています（第5章）。これは、心理学で言う「ラポール（共感）の形成」ですが、永戸さんは運動経験と勘をつうじ身につけたわけです。

もう1つは、徹底した思考力。永戸さんの熱い語りの裏には「自らとことん考える」

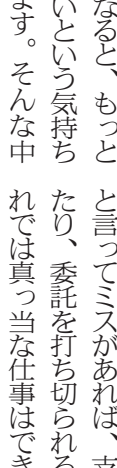
加えて、かつての日本企業は「労働と資本との関係について単純な対立でなく、いわば労働が資本を包摂するものとして捉えようとしたのではないか。この場合の労働とは、「協同労働」であることは言うまでもありません。



京丹後市久僧の家に帰ると、近所の知り合いが寄ってくる。「協同労働がつくる…」に登場する池井保先生（右端）と農業を教えてくれた田中章さん（その隣）。永戸さんは酔っても演説（左）。2017年頃。

公開開始

佐高信の隠し味



永戸祐三さんを悼み『協同労働がつくる新しい社会』を読む

日本労働者協同組合連合会元理事長、日本社会連帯機構代表理事の永戸祐三さんが7月16日に急逝しました。亡くなる前に著した『協同労働がつくる新しい社会』（旬報社の感想と、悼む言葉が引き続き寄せられています。永戸さん出演の「佐高信の隠し味」も公開されました。

労働者協同組合の顔と言っても過言ではない永戸さんの自伝。これまでの経過

参加無料

シンポジウム『協働労働がつくる新しい社会』から何を学び、未来を拓くのか

9月12日（金）、18時30分～20時40分 連合会館（東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」B3出口（徒歩0分））

シンポジスト：永戸さんと私…汐見稔幸、池山吉之助、田中羊子、山本幸司

特別参加 佐高 信

旬報社主催

参加無料

シンポジスト：永戸さんと私…汐見稔幸、池山吉之助、田中羊子、山本幸司

特別参加 佐高 信

旬報社主催

参加無料